



平成18年10月発行

北海道がんセンターたより

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54
TEL 011-811-9111
☐ホームページ <http://www.sap-cc.org>

編集発行人:山下 幸紀



北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さまの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

脳神経外科トピックス



脳神経外科医長 伊林 至洋

今回は脳梗塞と悪性脳腫瘍の新しい治療の話題を提供致します。

まず新しい血栓溶解薬（t-PA）アルテプラゼです。脳梗塞は脳の血管が詰まってしまう病気ですが、このお薬は血管で詰まった血液の塊を溶かしてしまうもので、米国で行われた臨床試験では、このお薬を使った人の39%がほとんど障害のない状態にまで回復しました。

但し良いことばかりではありません。まず症状が発現してから3時間以内にお薬の投与を開始しなければいけません。また最も多い副作用は出血です。脳梗塞の患者さまでは、特に出血性脳梗塞に注意する必要があります。これは脳の血管が詰まることによって、その先の血管ももろくなる為、この治療によって血液の流れが再開すると、もろくなった血管がこの血流に耐えきれず、血管の壁が破れて出血するものです。

しかし専門の施設で適切に治療を行えば、治療効果が劇的にみられるお薬ですので、手足の麻痺、しびれやろれつが回らないといった脳梗塞の症状がみられたら、すぐお近くの脳神経外科の病院に行くことが大事です。

もう一つの話は、悪性脳腫瘍の新しい治療薬で今年の9月に承認されました。お薬の名前はテモゾロミドと言います。口から飲むお薬ですので、外来通院での治療が可能です。分子量が194と

小さいので、血液中の薬剤が脳内に移動しやすいという性質を持っています。対象となる病気は、悪性の神経膠腫（グリオーマ）です。グリオーマとは脳の構成細胞である神経細胞を支える細胞から発生する浸潤性の悪性脳腫瘍です。治療は通常手術療法に加えて、放射線療法、抗がん剤を用いた化学療法を行います。グリオーマの中でも最も予後の悪い神経膠芽腫の平均生存期間は僅か約1年です。

ヨーロッパとカナダで行われた臨床試験では以下のような結果が出ました。まず573名の神経膠芽腫の患者さまを手術の後、放射線治療のみと放射線治療とテモゾロミドを併用する群に分けて治療しました。生存期間の中央値は前者で12.1ヶ月、後者で14.6ヶ月、2年後の生存率は前者で10.4%、後者で26.5%というものでした。副作用は血液成分の減少、悪心、嘔吐、食欲不振、便秘、倦怠感などですが、定期的に血液の検査などをして副作用が出ていないかを調べていきます。

当院でもこのお薬による治療を積極的に行っています。劇的に効くというお薬ではありませんが、経験豊富な脳神経外科医が微妙に投与量を加減しながら投与していくと、QOLを保ったまま、有意義な治療生活を送れると思います。質問があれば、どうか遠慮なさらずに、お尋ね下さい。

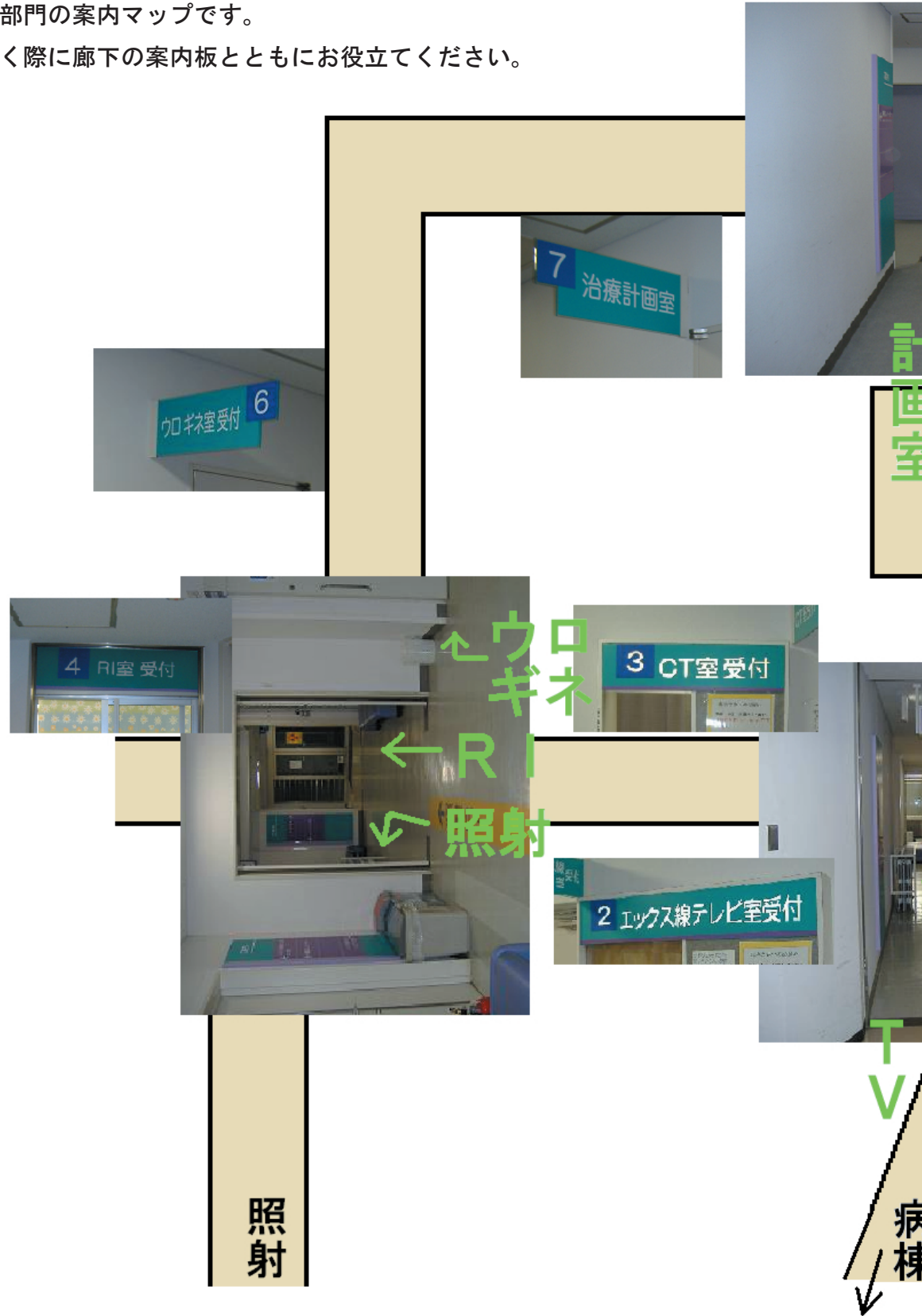
CONTENTS

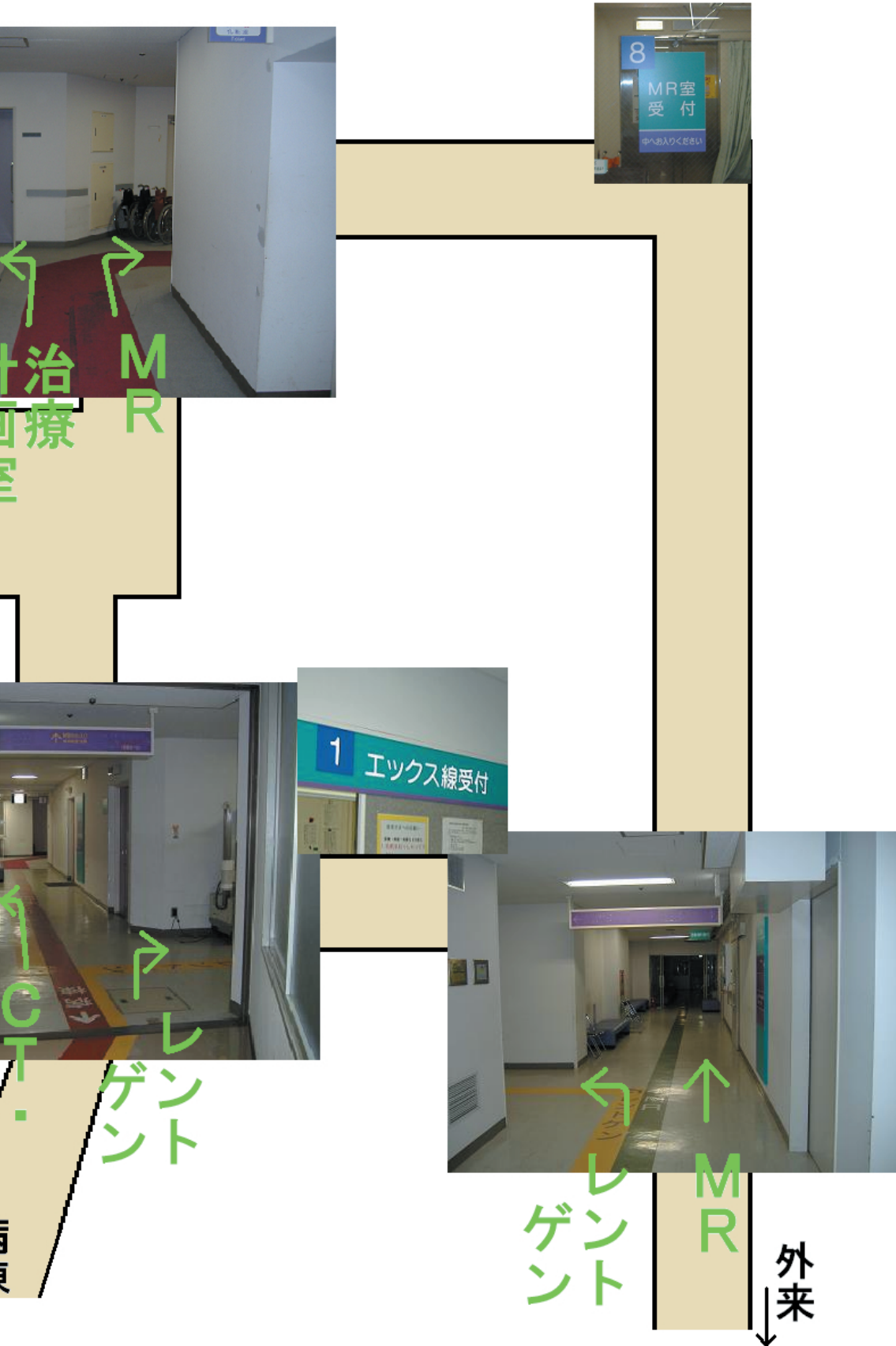
脳神経外科トピックス	脳神経外科医長 伊林 至洋	1
放射線部案内図	診療放射線技師 草薨 公規	2, 3
講演会等のお知らせ		4

放射線部案内図

診療放射線技師 草薙 公規

当院1階の放射線部門の案内マップです。
各検査の場所に行く際に廊下の案内板とともに役立ててください。





講演会等のお知らせ

ご存じですか？

当院は道内病院の医療関係者を対象に講演会をおこなっています

北海道がんセンターでは、年1回、医療従事者を対象にQOL（生活の質）推進を目的とした講演会を開催しています。この講演会は平成3年より北海道内の病院、訪問看護ステーションの医師、看護師等を対象に毎年実施してきました。

今年は、平成18年11月18日（土）札幌コンベンションセンターにおいて、「緩和ケアチームを立ち上げて～現状と今後の課題～」 「緩和ケアチームにおける薬剤師の関わり」の2題を職員が発表、さらに外部から講師を招いて「緩和ケアの広がりに向けて～緩和ケア病棟から一般病棟・在宅へ～」と題して講演を予定しています。

● がん予防展 ●

期 間

平成18年11月3日（金・祝）～5日（日）

場 所

アリオ 札幌店内

札幌市東区北7条東9丁目2-20

内 容

- ・がん予防に関する資料配布
- ・パネル展示
- ・がんチェック
- ・医療相談コーナー等

先月号（第30号）でお知らせした「第6回治験に関する公開講座のお知らせ」でプログラムの内容に変更がございましたのでお知らせします。

ちげん
第6回「治験に関する公開講座」
よいお薬をより早く
患者さまのもとへ...
～新しい治療と治験の役割～

日時
平成18年11月11日(土)
13:00～15:00

場所
北海道経済センター 8階Bホール
札幌市中央区北1条西2丁目
TEL(011)231-1122(代表)

どなたでも参加できます!
事前の申し込みは不要です。

入場無料

お問い合わせ
北海道がんセンター
治験管理部 治験管理室
011-811-9111 (内線314)

～ プログラム ～

ちげん
1. 治験ってなあに?
北海道がんセンター
治験コーディネーター 山岸 佳代

ちげん
2. 患者として治験に参加するには
NPO法人
ささえあい医療人権センターCOML
理事長 辻本 好子

ちげん
3. 治験とがん治療の実際
～乳がん治療～
北海道がんセンター
乳腺外科医師 渡邊 健一